

かながわの海

未来へつなぐ挑戦

変わりゆくかながわの海

その先にある可能性

詳しくは2・3面でご紹介

しげの ゆうた
写真家 茂野 優太氏撮影
場所：宮川湾（三浦市）

県の人口と世帯 総人口

（令和8年6月1日現在）



9,199,800人

男

4,553,204人

女

4,646,596人

前年同月比



24,052人減

世帯数



4,391,323世帯

県のたよりホームページ版

<https://www.pref.kanagawa.jp/tayori/>

※総人口には性別不詳を含むため、男女の合計と一致しない場合があります



豊かな海を次世代へ

相模湾で進む藻場の消失

藻場は「海の森」とも呼ばれ、多くの魚介類を育む「海のゆりかご」です。また、気候変動の要因となる二酸化炭素を吸収する役割としても重要です。しかし、水温上昇や海藻を食べるウニやアイゴの増加などの要因により、相模湾では海藻類が減少する「磯焼け」が急速に進んでいます。

藻場面積 2,690ha ▶ 580ha
(1990年) (2022年)

藻場を食い荒らすアイゴ

※イメージ

磯焼けした藻場

神奈川の海では、海水温の上昇などで海洋環境が変化し、海藻が育つ藻場の水産業に深刻な影響が出ています。県は、海洋環境の回復や新たな養殖の

消失や魚の住む場所が変わったことにより、漁獲量が減少するなど、導入など、水産業の未来を支える挑戦を進めています。

守る

早熟カジメによる藻場再生

早熟カジメは通常のカジメより早く成熟する海藻です。県水産技術センターは早熟カジメの苗を大量生産し、海で大きく育てる取り組みを行っています。アイゴなどの魚に食べられる前に種を放出するため、藻場の再生が期待できます。

人工種苗の大量生産

ダイバーによる海への移植作業

海中で大きく成長したカジメ

発芽から成熟まで約半年(通常1年半)

つなぐ

小網代でマガキ養殖 未来へつなぐ、 “育てる海業”

三浦市小網代湾では、磯焼けなどで減少したワカメに代わる新たな収入源として、マガキの養殖に取り組んでいます。県の支援により実施した養殖試験を経て、現在は漁業者らの「みうら小網代オイスター共同体」が中心となり事業を展開しています。



マガキの養殖作業

使われて いなかった施設から新しい水産業が生まれる

県は、「県庁版社内ベンチャー制度」により廃止した水道施設を活用したバナメイエビの陸上養殖の実証事業を実施し、約4カ月の飼育で10cm以上の大きさに成長させることに成功しました。



現在は民間事業者主体で県内2カ所でクルマエビなどの陸上養殖が行われています。

楽しむ

港のにぎわいが楽しめる「小田原・港の朝市」

「小田原・港の朝市」では、小田原漁港で水揚げされた新鮮な魚や地場産品など、漁港ならではのお買い物が楽しめます。

漁港の駅 TOTOCO小田原

朝市は毎月第2土曜日開催

※天候や水揚げ状況、イベント等の開催などにより中止となる場合があります

所在地：小田原市早川1-28
交通：JR早川駅から徒歩8分



詳しくはこちら



PICK UP 海の森がお金になる？ ブルーカーボン※クレジットとは

藻場が吸収するCO₂量を「価値」として企業に販売し、その収益を藻場の保全活動に充てる仕組み。藻場を守る新しい仕組みとして注目されています。

※藻場等の海洋生態系が光合成によりCO₂を吸収し、長期的に海底や深海にためられる炭素のこと



詳しくはこちら



藻場再生やマガキ養殖については県水産課 ☎045(210)4542 ㊟045(210)8853

【上記記事に関する問合せ】エビの陸上養殖については県のち・未来戦略本部室 ☎045(285)0710 ㊟045(210)8865

ブルーカーボンクレジットについては県脱炭素戦略本部室 ☎045(210)4083 ㊟045(210)8952

県の水産業について
詳しくはこちら



知事メッセージ

私は神戸出身ですが、幼い頃から神奈川・湘南の海に憧れを持っていました。そんな人は日本全国にたくさんいます。私たちは神奈川の財産であるこの素晴らしい海を守り続けていかなければなりません。しかし、今、神奈川の海の中では大変なことが起きています。「磯焼け」の発生です。

磯焼けとは、海水温の上昇などにより、海藻を食べるウニや魚が増え、「藻場」が失われてしまう現象です。

藻場とは、さまざまな生物にとって良好な生息地であり、稚魚を育む「海のゆりかご」としての役割も果たしています。豊かな海を未来につなぐために、藻場を守ることがとても重要です。

そこで県は、職員が相模湾で発見した、通常より成熟が早い「早熟カジメ」を、地域の皆さまと共に、海へ移植して増やすことで藻場の再生に取り組んでいます。私自身も城ヶ島の海へ潜り、海藻の移植作業を行いました。海底では確実に藻場が再生している様子を確認することができました。

県民の皆さまにもぜひ藻場再生の重要性を知っていただき、神奈川の豊かな海を共に守っていきましょう。

神奈川県知事 黒岩祐治



vol.82 ともいきバトン 今月は、株式会社ヘラルボニー クリエイティブディレクターの桑山 知之さんに伺いました！

さまざまな日々の営みが響き合う、いのちのメロディ

私たちヘラルボニーは「異彩を、放て。」をミッションに、障害のイメージ変容と福祉を起点に新たな文化の創出を目指すクリエイティブカンパニーです。障害のイメージを変えるプロジェクトの一つとして、知的障害のある人が過ごす日常で繰り返される「音」に着目し、社会へ届ける実験的な音楽レーベル「ROUTINE RECORDS」という活動をしています。このたび、津久井やまゆり園事件から10年の節目として、県と一緒に「いのちの尊厳の重要性」を未来に伝える取り組みになればと、園の利用者の方々の音を活用した楽曲と映像「ハートビート・ボイス」を制作しました。日々の営みの音は、人生の積み重ねともいえます。そこに、いのちがあることを感じてもらいたいことで、「ともに生きる社会」について考えるきっかけになれば幸いです。

このコラムでは、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念に共感していただいている方々のメッセージをご紹介します。



桑山さん(中央)

「ハートビート・ボイス」については
こちらから視聴できます



ともに生きる

ともに生きる社会かながわ憲章

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日 神奈川県

憲章についてはこちら



【ともいきバトンに関する問合せ】 県共生推進本部室 ☎045(210)4961 ㊟045(210)8854

写真家 茂野 優太氏撮影
場所：宮川湾（三浦市）

「海辺の天体ショー」

写真：横須賀市・宮崎 清和さん

初めて撮影した天の川でしたが、晴天にも恵まれ、降り注ぐ星の夜空を堪能することができました。

- ▶ 場所：荒崎公園（横須賀市）
- ▶ 撮影：令和7年4月



6月号の「柴陽花とやさしい顔」の撮影場所は、「長谷寺（鎌倉市）」ではなく「明月院（鎌倉市）」でした。お詫びして訂正します。

編集／発行（毎月1日発行）
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
神奈川県 政策局 知事室
☎045(210)1111（代表）
☎045(210)3662 FAX045(210)8834



県公式X(旧Twitter)
@KanagawaPref_PR

※記事は7月15日時点の内容であり、変更になる場合があります

The 10th edition
VIETNAM FESTA
in KANAGAWA
2026

◆ つながる心 これからも ◆
Gắn kết trái tim - Tiếp nối tương lai

ベトナムフェスタ in 神奈川 2026

今年で10回目の開催を迎えるベトナムフェスタ in 神奈川。「つながる心 これからも」をテーマに、ベトナムの「文化」「音楽」「食」に加え、「歴史」や「装飾」を楽しむことができます。ベトナムの魅力をたっぷり堪能できる多彩なコンテンツを体験してみませんか。

歴史

10回記念企画
ベトナム王朝の伝統音楽
ニャー・ニャック
「Nhã Nhạc」ステージ

ベトナム王朝の宮廷で受け継がれ、ユネスコ無形文化遺産に登録されているベトナムを代表する文化芸術を華やかに披露します。

毎年恒例！
ベトナムの伝統芸能「水上人形劇」
ベトナムならではの文化を間近で体感！

9月12日(土)
10時～20時
(日本大通り・県庁舎は17時まで)

9月13日(日)
10時～17時

日本大通り、県庁本庁舎、象の鼻パーク
交通：みなとみらい線 日本大通り駅県庁口出口から徒歩1分
JR・横浜市営地下鉄 関内駅から徒歩10分

装飾

ベトナムをイメージした色鮮やかなランタンで幻想的な風景を楽しめる！
※写真はイメージです

文化

音楽

アンバサダー
川嶋 あいさん

アーティスト
Mỹ Mỹ(ミー・ミー)さん

特別ステージ Mỹ Mỹ Special LIVE
9月12日(土) 11時～17時 開催
ベトナム音楽界で話題のアーティストによるライブパフォーマンス

食

象の鼻パークにバインミーやフォーなどベトナムグルメが大集合！

留学生スピーチコンテストも開催！

昨年度の様子は
こちらから
視聴できます

令和7年度 最優秀賞受賞
チャン・クイン・ゴックさん

eスポーツで国際交流！ かながわeスポーツ交流ひろば

9月13日(日) 11時～17時
象の鼻テラス
〔使用ゲームタイトル〕
太鼓の達人※ 他
※太鼓の達人 ドングルフェスティバル Taiko no Tatsujin™Series& ©BZEI

eスポーツの体験コーナーやミニ大会など、国籍や年齢等を問わず、誰もが一緒に楽しめるコンテンツを用意しています。初心者も大歓迎です。

ベトナムフェスタについては県国際課 ☎045(285)0761 FAX 045(212)2753
【上記記事に関する問合せ】 かながわeスポーツ交流ひろばについては県文化スポーツ観光局総務室 ☎045(285)0905 FAX 045(210)8951

6月補正予算

総額 **53億 7,977万円**

※表示単位未満切り捨てのため、合計に符合しません

詳しくは
こちら



【上記記事に関する問合せ】 県財政課 ☎045(210)2266 FAX 045(210)8805



物価高騰対策

27億 8,124万円

国の電気・ガス料金支援の期間に合わせ、3カ月(7～9月分)を対象期間として支援を行います。

- LPガス料金の高騰に対する支援 **23億 982万円**
- 特別高圧電力の受電者に対する支援 **4億 7,141万円**



その他

25億 9,853万円

- 介護及び障害福祉分野の賃上げ等に対する支援
- 学校職員への駐車場等の利用に係る通勤手当の支給
- 高等学校等教育改革に向けた体制構築
- 周産期医療提供体制の確保に向けた支援

核兵器もない 戦争もない 平和な世界を

県は昭和59年に「**非核兵器県宣言**」を行い、国内外に平和を訴え続けています。

【問合せ】 県国際課 ☎045(210)3755 FAX 045(212)2753